

八戸学院大、短大と南部町 地域振興へ連携協定

平成28年3月23日(水)



協定書に調印後、握手する(左から)
大谷学長、工藤町長、外崎学長

南部町と八戸市の八戸学院大学(大谷真樹学長)、八戸学院短期大学(外崎充子学長)は23日、連携協力に関する協定を結んだ。お

互いに保有する情報、ノウハウを活用しながら、地域の人材の発掘・育成、地域活性化など幅広い分野での連携を通して、地域振興と

相互の発展を目指す。

工藤祐直町長と大谷、外崎両学長が同日、町役場で協定書に調印。協定書によると、①(NPOを含む)地域の団体と地域活性化の研究および実践②地域の人材育成および定住促進③農林業など地場産業の育成、振興④地域の健康増進・スポーツ振興などで協力を進める。

大谷学長は「南部町は本学の卒業生や社会人講座の修了生が活躍している地域。今は点と点の存在である若いリーダーたちと経営資源を戦略的に結び付ける

役割を果たしたい」と意欲を示した。外崎学長も「本学は地域の文化創造、町の魅力アップに貢献できる。学生への指導・支援を地域の方々にしていただきながらわれわれも町の発展に協力したい」と述べた。工藤町長は「両大学が有する知的資源を活用してもらいながら、相乗効果として町と大学の活性化につながることを期待している」と述べた。

八戸学院大と短大が自治体と個別に連携協定を結ぶのは八戸市、五戸町、階上町、新郷村に続き、それぞれ5件目。(藤本雄大)